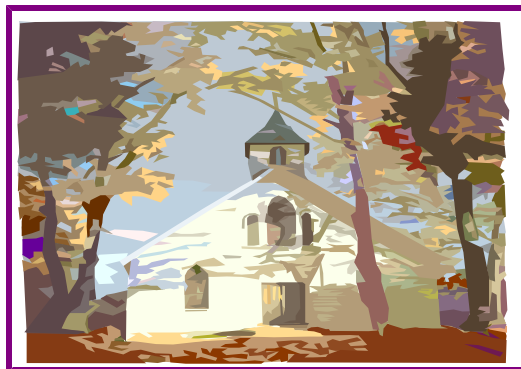


# めぐみイエス・キリスト教会

2018年10月21日(日)第三主日礼拝  
週報「通算第428号」



## 2018年標題聖句

### 使徒の働き27章22節～26節

《「しかし、今、お勧めします。元気を出しなさい。あなたがたのうち、命を失う者はひとりもありません。失われるのは船だけです。昨夜、私の主で、私の仕えている神の御使いが、私の前に立って、こう言いました。『恐れてはいけません。パウロ。あなたは必ずカイザルの前に立ちます。そして、神はあなたと同船している人々をみな、あなたにお与えになったのです。』

ですから、皆さん。元気を出しなさい。すべて私に告げられたとおりになると、私は神によって信じています。私たちは必ず、どこかの島に打ち上げられます。』》

第一礼拝	毎週日曜日	午前10時～11時
第二礼拝	毎週日曜日	午後6時～6時45分
聖書研究・祈祷会	毎週水曜日	午後6時15分～7時15分

牧師 鈴木 竜 実  
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

◇◆◇2018年10月21日(第三主日礼拝)

第一礼拝 午前10時～11時

第二礼拝 午後6時～7時

司会(奏楽) 鈴木竜実牧師 奏楽 佐野みゆきさん

### ◎礼拝プログラム

【前奏祈祷】

【賛美Ⅰ】 新聖歌339「恵みの高き嶺」 p. 538

【交読文】 No.19 詩篇第51篇 p. 893

【賛美Ⅱ】 新聖歌344「なおも御恵みを」 p. 548

【使徒信条】

【主の祈り】

【先週説教】

【賛美Ⅲ】 オリジナルNo.14 「み言葉に帰ろう」

【聖書朗読】 ヨハネの福音書16章8節～11節(新約p. 195)

【祈 禱】

【説 教】 《その方が来ると》

【聖 餐 式】

【賛美Ⅳ】 新聖歌165「栄光イエスにあれ」 p. 235

【平和祈り】

【頌 栄】 新聖歌63 「父・御子・御霊の」 p. 85

【祝禱後奏】

### ※本日の聖書箇所(ヨハネの福音書16章8節～11節)

16:8 「その方が来ると、罪について、義について、さばきについて、世にその誤りを認めさせます。

16:9 罪についてというのは、彼らが私を信じないからです。

16:10 また、義についてとは、私が父のもとに行き、あなたがたがもはや私を見なくなるからです。

16:11 さばきについてとは、この世を支配する者がさばかれたからです。」

### ●ポイント1 「その方」とは？

#### ※ヨハネの福音書14章16節～17節「もう一人の助け主」 (新約p.192)

14:16 「私は父にお願いします。そうすれば、父はもうひとりの助け主をあなたがたにお与えになります。その助け主がいつまでもあなたがたと、ともにおられるためにです。

14:17 その方は、真理の御霊です。世はその方を受け入れることができません。世はその方を見もせず、知りもしないからです。しかし、あなたがたはその方を知っています。その方はあなたがたとともに住み、あなたがたのうちにおられるからです。」

### ●ポイント2 「罪について」とは？「義について」とは？

#### ※使徒の働き2章36節～40節「ペンテコステの日において」(新約p.211)

2:36 「ですから、イスラエルのすべての人々は、このことをはっきりと知らなければなりません。すなわち、神が、今や主ともキリストともされたこのイエスを、あなたがたは十字架につけたのです。」

2:37 人々はこれを聞いて心を刺され、ペテロとほかの使徒たちに、「兄弟たち。私たちはどうしたらよいのでしょうか。」と言った。

2:38 そこでペテロは彼らに答えた。「悔い改めなさい。そして、それぞれ罪を赦していただくために、イエス・キリストの名によってバプテスマを受けなさい。そうすれば、賜物として聖霊を受けるでしょう。

2:39 なぜなら、この約束は、あなたがたと、その子どもたち、ならびにすべての遠くにいる人々、すなわち、私たちの神である主がお召しになる人々に与えられているからです。」

### ●ポイント3 「さばきについて」とは？

#### ※創世記3章14節～15節「エデンの園の蛇(悪魔)への宣告」 (旧約p.4)

#### ※第 I コリント15章55節～58節「使徒パウロの確信と奨励」 (新約p.313)

## ◎先週のメッセージの概要【私が去って行くなら】

《イエス様は、ここではっきりと、ご自身が弟子たちから去って行くことを言われました。残念ながら、この時の弟子たちには、主イエス様がどこか遠い国へ旅立たれるくらいにしか、考えられなかったのです。

「去って行く」と言われた言葉は預言であって、二重の意味を含んでいます。一つは、十字架にかけられ、そして死なれることを意味しています。

そしてもう一つは、復活されてから四十日後、イエス様は、十一使徒たちをオリーブ山に連れて行き、彼らの見ている間に、去って行くことになります。

「聖霊があなたがたの上に臨まれる時、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤと地の果てにまで、私の証人となります。」

こう言われてからイエス様は上げられ、雲に包まれ、見えなくなられました。この時、本当にイエス様は、彼らから去って行かれたのです。しかしイエス様は、去られる前に弟子たちに約束されたのです。

「私が去って行くことは、あなたがたにとって益なのです。それは、もし私が去って行かなければ、助け主があなたがたの所に来ないからです。しかし、もし行けば、私は助け主をあなたがたの所に遣わします。」

「もうひとりの助け主」とは、イエス様と全く同じお方であると言う意味です。

イエス様は、まことの神様であると同時に、まことの人でもあられたのです。復活されても、その本質は変わりません。つまり私たちと同じであるならば、時間と空間の制限を受けることになるのです。なぜなら、主イエス様はただ一人しかおられません。第二位格のただ一つの人格であられ、復活され、栄光の体に変えられ、父なる神様の右の座に座しておられます。

しかし、助け主であられる聖霊様は違います。聖霊様は偏在されるお方です。どこにでも、またどの時間においても存在されるのです。何時でも話かけることができます。そしてそのお方は、まことの平安を与えて下さるのです。

創造主なる神様が、いつも共にいて下さるとしたら、何と言う力強いことではないでしょうか。またこのお方は、イエス様の霊でもあられるのです。》

## ◎お知らせ

1. 次回の礼拝は、10月28日(日)です。通常通り、第一礼拝は午前10時から、そして第二礼拝は午後6時から行ないます。

2. 次回の聖書研究・祈祷会は、10月24日(水)午後6時15分からです。